

上智大学・ベネッセ英語教育シンポジウム2018

実践研究

「授業の中での教師の英語での働きかけを考える」

発表者：長沼 君主（東海大学）
工藤 洋路（玉川大学）
津久井 貴之（お茶の水女子大学附属高等学校）

<このセッション（70分）の流れ>

1. Teacher-Student Interaction①（津久井・工藤）
<Warm-up Activityとして>
2. 研究の背景（工藤）
3. Teacher-Student Interaction②（津久井・工藤）
<生徒の発話を引き出す方法のバリエーション>
4. Teacher-Student Interaction③（長沼・津久井・工藤）
<教科書本文を活用したやり取り>
5. 全体解説（長沼）

Teacher-Student Interaction①

<Warm-up Activityとして>

よくある（中学校の）授業のスタート…

T: Good afternoon, everyone.

Ss: Good afternoon, Mr. Tsukui.

T: How are you?

Ss: I'm fine, thank you. And you?

T: I'm fine, too, thank you.

How's the weather today? Kudo-kun.

Ku: It's rainy today.

T: _____

Kudo-kunは…

陸上部所属

毎日厳しい練習に励んでいる

英語はあまり得意ではない

T: How's the weather today? Kudo-kun.

Ku: It's rainy today.

T: Yeah. You're a member of the track and field team, so you can't go running outside, right?

Ku: We'll have to practice in the gym.

T: Oh, you will practice inside?

Ku: Yes. Very hard.

T: Which do you like better, indoor practice or outdoor practice?

Ku: I like outdoor practice better.

T: I hope it will stop raining soon.

学校での英語の授業…

- 通常は、同じ先生が一定期間、同じクラスの授業を担当
- 担任や部活などにおいて、授業外でも児童・生徒と関わることが多い
- 生徒のことをよく知っているからこそ可能な教師の働きかけとは？



関わり
合い



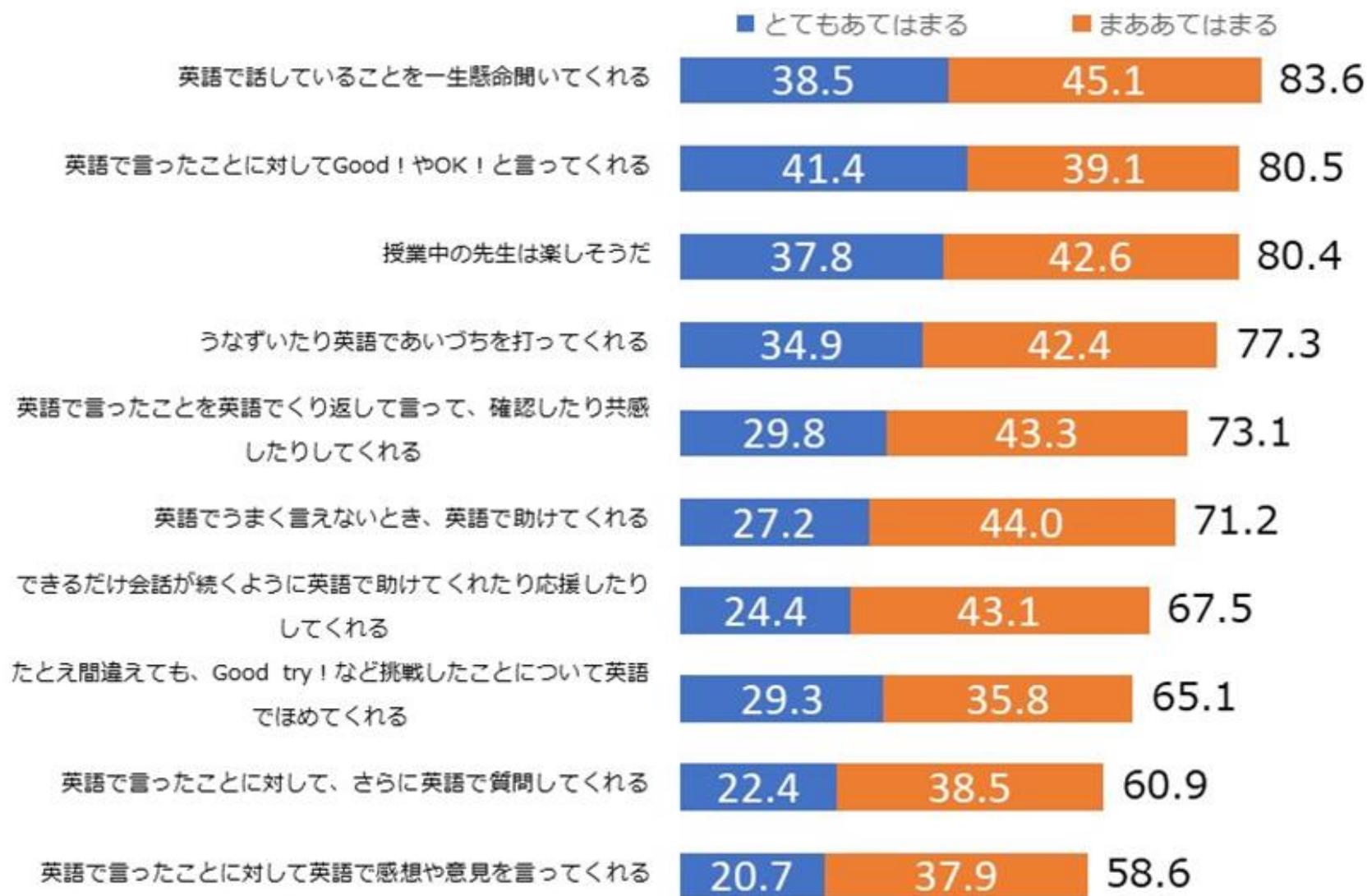
寄り
添う



(教師が)
関心を
寄せる

研究の背景

教師の働きかけ（午前の調査報告のレビュー）



n=1,003（中学3年生）

『中高の英語指導に関する実態調査2015』では

授業で大切にしていること

(%)

	中学校	高校
①	楽しさ (51.9)	理解 (41.9)
②	定着 (34.5)	楽しさ (38.1)
③	理解 (31.5)	好奇心 (32.5)

今回の中3生の調査では…

「先生や友だちと英語でやり取りするのが楽しい」

とてもそう 14.4% まあそう 33.4%

あまりそうではない 37.1% まったくそうではない 14.1%

⇒ 「生徒が感じる楽しさ」と「教師の働きかけ」の関係は？

【先生】 生徒の発話に対して英語で意見を言う (58.6%)

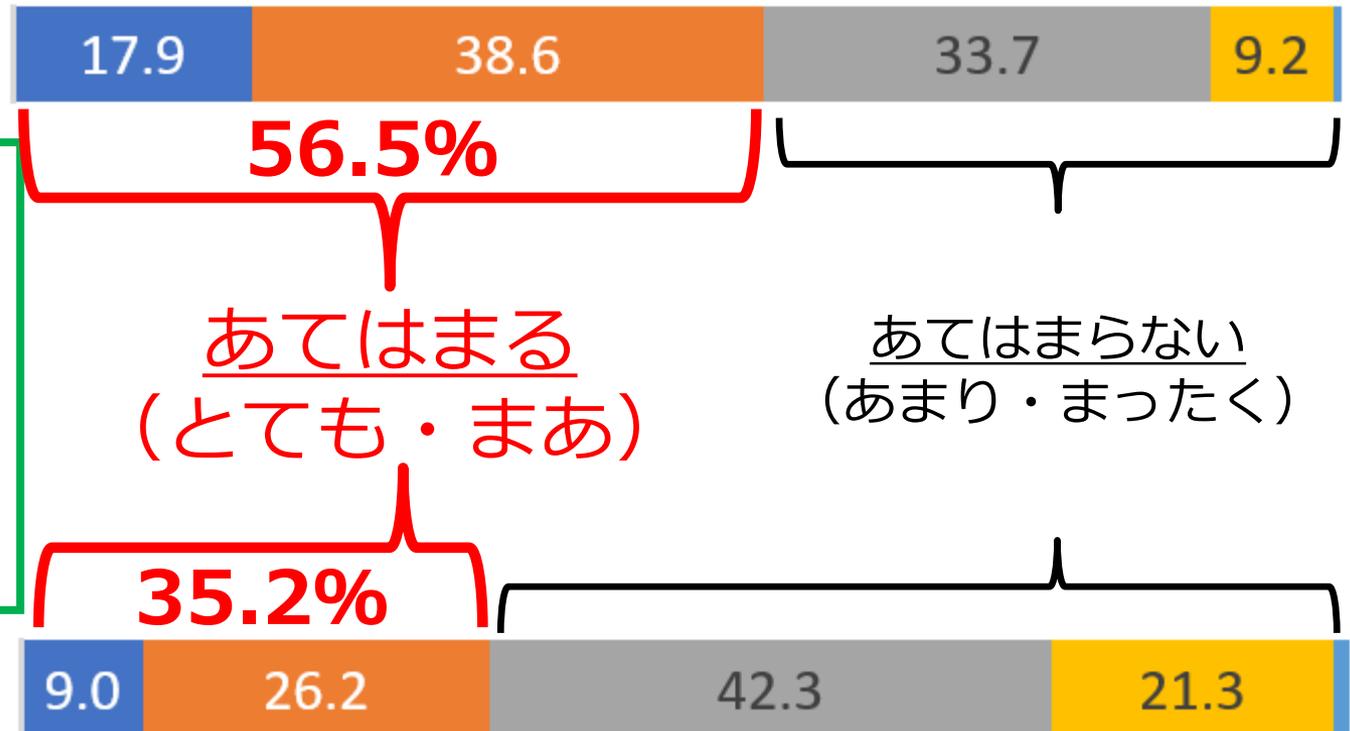
⇔ 【生徒】 やりとりが楽しいと思う (47.8%)

先生や友だちと英語でやり取り
するのが**楽しい**

あてはまる
(とても・まあ)

英語で言った
ことに対して
英語で意見や
感想を言って
くれる

あてはまらない
(あまり・まったく)



【先生】 英語でさらに質問する (60.9%)

⇔ 【生徒】 やりとりが楽しいと思う (47.8%)

先生や友だちと英語でやり取り
するのが**楽しい**

あてはまる
(とても・まあ)

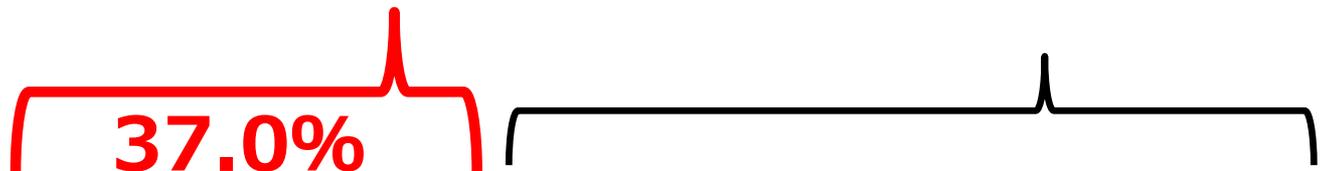


54.7%

あてはまる
(とても・まあ)

あてはまらない
(あまり・まったく)

英語で言った
ことに対して
さらに英語で
質問をして
くれる



37.0%

あてはまらない
(あまり・まったく)

【先生】 英語での会話を継続するサポートをする (67.5%)

⇔ 【生徒】 やりとりが楽しいと思う (47.8%)

先生や友だちと英語でやり取り
するのが**楽しい**

あてはまる
(とても・まあ)



55.8%

できるだけ会話が
続くように英語で助け
てくれたり応援したりして
くれる

あてはまる
(とても・まあ)

あてはまらない
(あまり・まったく)

31.3%

あてはまらない
(あまり・まったく)



【先生】 英語での確認や共感をする (73.1%)

⇔ 【生徒】 やりとりが楽しいと思う (47.8%)

先生や友だちと英語でやり取り
するのが**楽しい**

あてはまる
(とても・まあ)



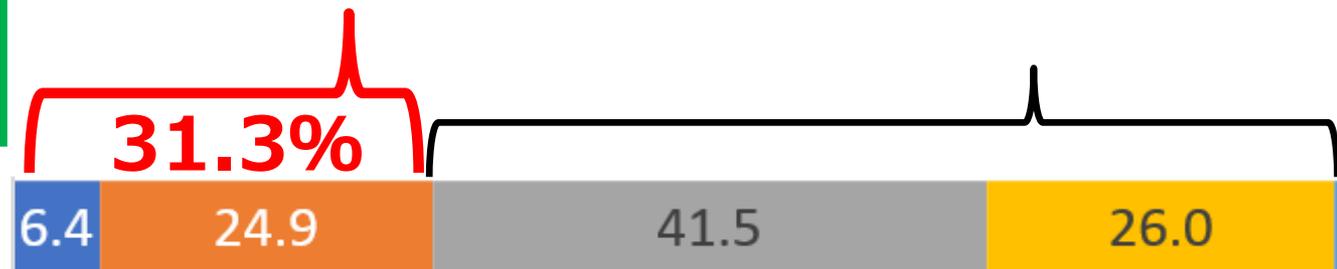
53.9%

英語で言った
ことを英語で
繰り返し言っ
て、確認した
り共感してく
れたりする

あてはまる
(とても・まあ)

あてはまらない
(あまり・まったく)

あてはまらない
(あまり・まったく)



31.3%

教師が生徒に働きかける方法・観点（例）

これらをどう使用すれば、有効な働きかけになるか？

➤ 質問（発問）の形式例

- ・ Yes-No型／Wh型
- ・ display型／referential型
- ・ factual型／interpretive型／evaluative型

➤ インタラクションにおける聞き手の行為

- ・ 相槌 ・ 繰り返し ・ コメント ・ 確認 など

➤ 機能（言語の働き）の観点

- ・ 褒める ・ 共感する ・ 驚く ・ 励ます など

➤ （授業を進める上での）教師の意図

- ・ 会話を始める ・ 会話を継続する ・ 会話を終える
- ・ 別の生徒に話させる ・ 生徒同士で話させる
- ・ 誤りを修正する ・ 練習をさせる ・ 評価をする など

T: How's the weather today? Kudo-kun.

Ku: It's rainy today. Wh-/display/factual

T: Yeah. You're a member of the track and field team, so you can't go running outside, right?

相槌

確認

Ku: We'll have to practice in the gym.

T: Oh, in the gym. You'll practice inside.

Ku: Yes. Very hard. くり返し

T: Which do you like better, indoor practice or outdoor practice?

Ku: I like outdoor practice better.

コメント・共感

T: I hope it will stop raining soon.

Teacher-Student Interaction ②

<生徒の発話を引き出す方法のバリエーション>

T: What did you do last weekend?

recast

S: Running... park...?

T: Oh, you went running in a park?

S: Ah... I went running dog.

T: You went to which park?

S: I went to Yoyogi Park... dog running!

T: **You mean** you went to the dog park in Yoyogi.

確認①

S: Yes, yes! My dog ran!

T: Oh, your dog ran alone and you just watched it, **OR**, you ran **WITH** your dog?

S: I ran with my dog!

確認②

T: That's nice!

生徒への寄り添い

T: Mr. Kudo, you're in the Track & Field Club, right? Do you also like running alone?

S: Ah... yes, I do. I run Monday morning

T: Why on Monday morning?

続きを促す質問

S: ...

T: It's the first day of the week. I do not feel like doing anything on Monday morning. So, I want to know why you run on Monday morning.

S: Ah... From... Tuesday to Friday we have club activity, but we ...

先生が多く話す結果...

生徒が自らで追加した情報（≡ 教師が想定していない情報）

T: Mr. Kudo, you're in the Track & Field Club, right? Do you also like running alone?

S: Ah... **Yes, I do. I run Monday morning.**

T: Why on Monday morning?

他にどんな働きかけが可能か？

<インタラクシヨン体験>

ペアになって、ジャンケンをしてください。

勝った人・・・先生役

負けた人・・・生徒役（高校1年生）

* 映画好き

* 期末試験まであと10日

* 英語の成績は普通

先生役は、次のスライドで提示される質問で
インタラクシヨンを始めてください。

What are you going to do next weekend?

Teacher-Student Interaction ③

<教科書本文を活用したやり取り>

1. 教科書の本文を2分で読んでください。
2. 次の指導手順の赤字の段階では、生徒へどのような働きかけ（発問など）を行いますか？ ペアで考えてみてください。
3. 想定 of 生徒は高校1～2年生としてください。

- ① 本文導入
- ② 本文理解（factualな発問を中心に） + 音読
- ③ **本文ベースのインタラクション（④の活動への橋渡しとして）**
- ④ What does a winner mean to you?への自分なりの答えを生徒が書いて、発表
- ⑤ p.9の「好きなことば」のスピーチを実施

アイデアの共有

**津久井先生と皆さん（生徒役）
による実践例**

A winner never quits.

効果的な働きかけを実践するには

最終的には

Teacher-Student(s)

のインタラクションだけではなく

Student(s)-Student(s)

のインタラクションを実現することも大切